

「高齢運転者事故防止対策協力式」を実施

～ 静岡県警に高齢運転者事故防止対策啓発ポスター500枚とチラシ20,000枚を寄贈 ～

日本損害保険協会中部・北陸支部静岡損保会（会長：河本 幸治・損害保険ジャパン株式会社 理事 静岡支店長）では、8月25日（火）に静岡中央警察署にて掲題協力式を開催し、アンバサダーが高齢者に対して補償運転（※）を呼びかける内容のポスター500枚とチラシ20,000枚を寄贈しました。

静岡県内の交通事故を防止する上での最重要課題である「高齢運転者事故防止対策」を推進するにあたり、「補償運転」に重点を置いた広報啓発を展開するため、孫世代から祖父母世代に対して働きかけることは効果的であると言われています。静岡県警では、昨年に引き続き、高齢者の心に響きやすい「孫世代からのアプローチ」をコンセプトに、高齢者に人気のある相撲を用いることとし、わんぱく相撲の兄弟力士として静岡県で名高い、静岡市立末広中学校 上坂 隼斗（こうさか はやと）さんと静岡市立番町小学校 上坂 匠（こうさか たくみ）さんにアンバサダーの委嘱を行いました。

当日は、掲題協力式に先立ち、アンバサダー委嘱式が開催され、静岡県警交通部長室で中村交通部長より、上坂さん兄弟へアンバサダーの委嘱状が手渡されました。その後に開催された協力式では、河本静岡損保会長よりポスターとチラシの披露があり、「兄弟力士のお二人に、交通安全の願いを託し、今後、ポスターやチラシを通じて『安全運転を心掛けることが、自分だけでなく、大切な家族や地域を守ることにつながる』というメッセージを、力強く、そして温かく発信していただき、高齢ドライバーの皆様の目に留まり、ご自身の運転を見つめなおす一つのきっかけとなることを強く願っている。」と挨拶がありました。

これに対し、静岡県警中村交通部長から、「高齢ドライバーの補償運転『5つの待った』は、交通事故を起こしやすい状況を避けて運転してもらう行動様式を身に付けてもらうための高齢ドライバーのニーズと安全を調和させていく心理的視点からの取組であり、今回、作成いただいたポスターとチラシを有効に活用し、交通事故防止に全力を尽くしていきたい。」との挨拶がありました。

当支部では、今後も、静岡県警ほか関係機関と連携のうえ、交通事故防止活動を行ってまいります。

※補償運転とは、加齢に伴う運転技能の低下を補うために、自身の体調や天候、道路状況を考慮して安全に運転することです。



ポスターを寄贈する河本損保会長（右）



河本損保会長（左）と中村交通部長（右）



アンバサダーの上坂兄弟



集合写真



ポスター・チラシ表面



チラシ裏面